

ひまわりライス通信

R元年、7月

No.115

皆さんこんにちは。今年の北竜町は雨の少ない日が続いています。田んぼの方は順調に育っているのですが、畑作関係が雨の影響を少なからず受けています。天気祭りでもして、これからの生育を見守っていききたいところです！+(o・ω-人)・.* それじゃ今月もいってみよう♪



6月21日この日は生育調査を実施しました。計測地まで行くのに、足場がぬかるんで転びそうになります。皆、転ばないでね～ヾ(・ω・;)ノ



草丈と茎数を測っていきます。今年は平年値よりかなり良い生育ぶりで茎数も順調に増えているようです。(*^ー)^v



稲が育つと病気や害虫に気を付けなくてははいけません。そのために、普及センターの方に講習をしてもらっています。



捕中網ですくった中に、アカヒゲホソミドリカスミカメが何匹捕獲できたか確認。そこで、適切な防除期を決めて防除を行います。



6月27日本日は「あおぞら教室」です。これから管理する上で大切なことや、体験談などを話して情報を共有していきます。(.-ω-.)



株の中から主茎(親穂)をカッターできってみました。幼穂が5mm程に形成されていました。これが稲穂になるところです。

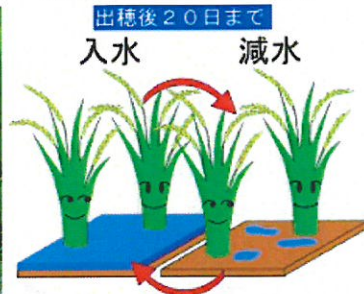
この時期は花粉の基になる細胞(小孢子)が分化する時期で、花粉の数を決定します。この時に低温にあると分化が制御されて、全体の花粉数が減少し生育不良・受粉率の低下になってしまいます。



幼穂全体は10cmにもなり、止葉の葉鞘(ヨウショウ)に包まれて外からは茎が膨らんで見えます。(´・▽・´)へー



冷害危険期終了後、出穂直前までの間、中干をして土の中に新鮮な酸素を補給して根腐れを防止、根の活力を高めます。



中断かんがいを行います。

中干し後は、中断灌漑(カンダンカンガイ)による水管理を行います。中断灌漑とは、入水と落水を繰り返す方法です。

長期間、田んぼに水を入れることによって、根が老化するのを防ぎます。落水することにより、根には酸素が供給されます。こまめな水管理が、収量と品質に差が出てくるんですよ。



草刈りも大事な仕事のひとつです。放っておくと、害虫の住処になったり、いもち病の原因になりかねません！！ O(´ω´*)o

今月も最後までお付き合いいただきありがとうございました。7月29日は「七福神」の語呂合わせから福神漬けの日だそうですよ。なんだか辛いカレーが食べたくなりますよね～。(＊' 艸) 辛いカレーを汗をかきながら食べて夏バテ知らずの夏を過ごしてくださいね。それではまた、来月号でお会いしましょう。V(・ω・)v

J Aきたそらち北竜支所 営農課
直通 0164-34-2247
生産情報公表 J A SのHPアドレスは
J Aきたそらち北竜支所ブログ

FAX 0164-34-2216
<http://www.hokuryu-mai.com/>